



子どもの居場所 NUスペース

「ヌー」って読むよ

何もなくていいなんでもできる



¥0

開催場所：芸術資源館（東3-15-11）



開館時間：毎週水曜日～日曜日
13:00～17:00(水曜日は21:00まで)

上記日時以外での、開館・イベント実施もあります。詳細はHPでご確認ください。

<https://www.nu-art.tokyo/first/>



東地域の静かな住宅街に立つアトリエ「芸術資源館」で、子どもの自由な居場所を実施しています。

歴史のあるアトリエ空間

本芸術資源館は、約70年前に、洋画家のなかもとたつやと臼井都氏の住居兼アトリエとして建てられました。



入口のすぐ右手にアトリエが広がり、奥に進むとダイニングのガラス戸から、ガーデンギャラリーが一望できます。



室内のアトリエはアートに囲まれながら自由に過ごせる場所。



(上) 子ども達の作品が展示されるガーデンギャラリー。旧国立駅舎の木材が再利用されている。
(右) ウッドデッキで自由にデッサン。アドバイスをもらうことも。



学校とは異なる空間づくり

ここに来る子どもたちは、自由に自分だけの時間を過ごします。絵を描く子、庭の木についている蝉の抜け殻を探す子、友達と追いかっこをする子など。時間に縛られずに自分の好きなように過ごせる空間は、現代のストレスフルな社会において、子どもたちにとって大事な居場所になると思います。



コンちゃん・まーちゃん・えっちゃん・ヤマちゃん
(左上から時計回り)

近藤 幸夫 さん 芸術資源館館長
山越 邦夫 さん 芸術資源館副館長



office@nu-art.tokyo



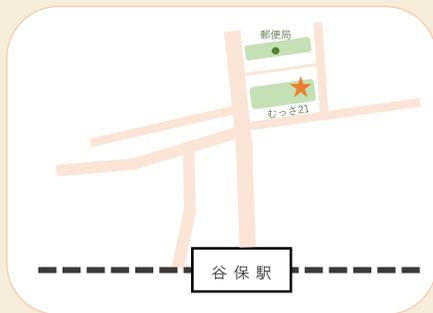
042-507-5795

駄菓子や「くにちゃん」

歴史ある富士見台の自由な居場所



開催場所 プラムジャム (富士見台1-7-1)



開催日時 毎週土曜日
13:00~16:00

ホームページ <https://kunichan.org>



毎週土曜日に、富士見台第一団地の第一号棟にある「プラムジャム」の一角で開いている居場所。子どもが自由に過ごすことのできる空間をつくっています。

多様な過ごし方ができる空間

駄菓子の並ぶ入口から室内に入ると、中にはボードゲームやブロックなどたくさんの遊び道具が。好きなもので好きなだけ遊べたりします。駄菓子を買わなくても大丈夫、一人で来るのもお友達と来るのも大歓迎です。



駄菓子と一緒に販売されるお好み焼き (50円) は大人気。あたりにはソースの香ばしい香りが広がる。



みんなで室内遊びをする様子。



(左) アイロンビーズ作品展の様子。
(右) お気に入りの駄菓子を買う子どもたち。



歴史ある居場所

15年以上の歴史があるので、沢山の子どもたちの成長を見届けてきました。一時期は、ここでアイロンビーズに熱中して取り組んでいる姿が印象的なお子さんがいました。進学を機に来る頻度は減ってしまいましたが、卒業を前にコロナ禍で遊び場所が無くなった子どものために作品を提供してくれました。その後「くにちゃん」や、国立旧駅舎内のスペースでも作品展を開きました。

ここで遊んでいたお子様の中で、多くの子どもたちが入学や卒業の報告に来られます。人生の節目にふと思い出す居場所。それが目標です。



吉村 多恵子 さん (写真後列左)

日々の生活を一生懸命、頑張っている子ども達が、週に1回思い切り好きなことをして「あー楽しかった！また来週も頑張ろう」と思ってもらえる居場所になればと思っています。



ringlinkkunitachi@gmail.com

外国ルーツの子の学習室

遊んで学んでみんな友達



開催場所：UR集会所（富士見台1-7-1）



開催日時：毎週金曜日
15:30～17:00

毎週金曜日、富士見台第一団地内のUR集会所で、外国にルーツを持つ子どもを対象に、主に学習支援を実施している居場所。

必要に応じて保護者への学校プリントや制度の説明なども行っています。

多様な国のルーツや事情を持つ子ども達が、ここを利用しています。子ども達の多くは、学校のお友達とのお話（生活言語）は問題無くできますが、教科書や授業で使われる日本語（学習言語）は難しいという課題があります。



ポニーとの交流

富士見台第一団地の広場にジャックとダンディという名前のポニーを呼び、交流イベント（不定期）を実施しました。

学習サポートを利用されている方はもちろん、地域の異世代・異文化の人々の交流の場となっています。



普段はマンツーマンでの学習が多いですが、時には輪になってお互いの宿題に刺激を受けることも。

安心して頼り合える空間

元教員や日本語サポートの経験が豊富なスタッフがいます。少人数制であるため、子ども達同士はもちろんスタッフも友達のように近い関係です。勉強以外にも不安なことがあれば、相談しようと思ってもらえる関係づくりを心がけています。



小野 円さん
(写真左から2番目)

吉村 多恵子さん
(写真左から3番目)



ringlinkkunitachi@gmail.com

ご利用の際は、事前連絡が必要です（英語対応可）

日本語学習支援教室 ひまわり

友達と一緒に楽しく学ぼう！
Let's study together!

हामीसँग सिक्नुहोस्
与我们一起学习!



開催場所：くにたち福祉会館分室
(富士見台1-17 1-2-10)



開催日時：毎週水曜日
小学生：15:30～17:00
中学生：17:10～18:40

毎週水曜日、富士見台第一団地内の郵便局の隣にある「くにたち福祉会館の分室」で、外国にルーツのある子どもたちの居場所・学習支援をしています。保護者を交えた交流イベントも実施しています。

始めたきっかけ

学習で使われる日本語が難しいことが理由で、勉強につまずいている小中学生がいるとの声が寄せられたことから、地域の学生や大人たちと協力して立ち上げました。

居場所の様子

小中学生を中心に約20名の子ども達が通っています。ひとりの子どもに2~3人の担当者が付くことで、いつでも自分の先生が笑顔で迎えてくれる安心感と、継続的な学習の場を提供しています。

勉強の後は、先生や友達とおしゃべりやボードゲームなどをして楽しい時間を過ごしています。



(上)月に一度、ボランティアが企画した、日本の文化や行事に触れるお楽しみの時間。
(右)季節のイベントでハロウィンを楽しむ様子。



同じバックグラウンドを持ち、別々の学校に通う子どもたちが、この場所で交流を深めています。毎回30名程度の地域の学生や大人が、先生として子どもたちに勉強を教えています。



伊藤 真理子 さん (左写真後列右端)
野澤 力 さん (右写真)



042-575-3223

(国立市社会福祉協議会ボランティアセンター)

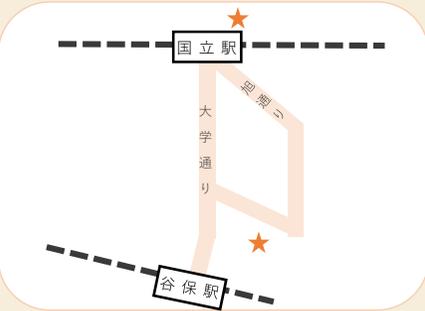
こどもの未来探求学習

多様な学びの機会を提供する
子どもの居場所



開催場所

- ①コトナハウス（富士見台1-8-38）
- ②国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ
会議室（北1-14-1）



開催日時

- ①毎週水曜日10:00～13:00
- ②第4水曜日13:00～17:00

毎週水曜日、ダイヤ街のコトナハウスと、月に1回「国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ」で、多様な体験機会を提供する自由な居場所を実施しています。



カードゲームを楽しむ子どもたち。

居場所の様子

幼児や、学校に行きづらい子どもたちをはじめ、その保護者の方なども、ここに立ち寄り、各々が思い通りに時間を過ごします。

工作をしたりオセロや塗り絵で遊んだり、料理をしたり、自分の興味のあることをとことん追求するお子さんもいます。



壁一面のホワイトボードに自由にお絵描きする様子。



パンケーキイベントの様子。

子どもの自主性を大切に

ここでは、子どもの自主性や自由な発想を大事にしています。子どもたちで昼ご飯を用意することもあります。そのときは、献立を考え、それに必要な材料を考え、商店街で買って来ることまで含めてやってみたりしています。他にもパンケーキアートのイベントでは、描きたい絵を綺麗に焼き上げられるために、ホットプレートの前に試行錯誤する様子がありました。小さい子どもたちの代わりに高校生ボランティアが焼いてあげるなど、年齢を超えた交流も見られました。



小保方 亜依さん

教員経験を活かし、子どもに応じた声掛けや、「学びが喜び」として実感できるような時間を創っていただけると幸いです。



mirai.tankyu@gmail.com



090-4137-6183

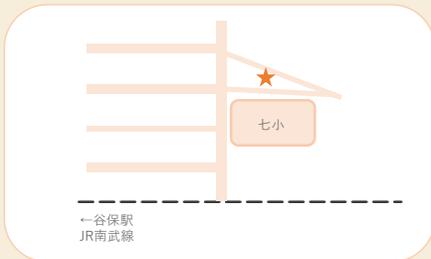


谷保のネオおばあちゃん家

懐かしくてどこか新しい



開催場所：蔵松屋（富士見台1-47-3）



開催日時：毎週水曜日・土曜日・日曜日
14:00～17:00

活動日時は変更があります。
詳細はInstagram(yaho.neo)にて
更新されます。

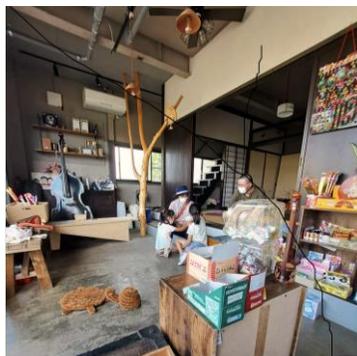


国立第七小学校から徒歩1分の立地にある
畳屋を改装し、多様な学習機会を提供
する自由な居場所を実施しています。



こだわりの空間

表から入ると目の前には土間。
豊富な種類の駄菓子や日本製の
花火（それぞれ購入可）、興味
を刺激する幅広い内容を取り揃
えた本棚があります。
その奥に広がる10畳の和室は、
自由に遊んだり横になったりす
ることが出来ます。



みんながリラックスできる場所。



(上) 演奏会を観覧する様子。普段あまり見られない楽器に子ども達は
興味津々。

(右) 畳の間で茶道の先生からお作法を学ぶ様子。



多様なイベントの開催

開放的な空間を活用して、イベントや教室を開催しています。
科学遊び体験、茶道教室、演奏会や落語会見学の他、ワークショッ
プなど、学校では学ぶことが出来ない、多種多様な学びの機会を用意
しています。



日下 竹彦 さん（写真一番右）

スクールソーシャルワーカーの経験
を活かし、子ども達に応じた声掛けや
寄り添いを心掛けています。



neo.yaho.bba@gmail.com



夕暮れフリースペース

放課後の子どもの居場所



開催場所：谷保くにたちはたけんぼ
(谷保661)



開催日時：第1・3金曜日
18:15～20:00

月2回、自然豊かな「くにたちはたけんぼ」で子ども達が自由に過ごせる居場所を実施しています。

始めたきっかけ

国立市に学校以外でも子どもたちが遊べる場、ごはんをともに食べることができる場を作りたいと考え、活動を始めました。

自然環境を活用して、集まった子ども同士、あるいは大人と、自由に濃密な交流を行っています。

子ども主体のアットホームな居場所の実現、地域住民とともに子どもの成長を見守ることができま



大きな遊具で思い切り遊ぶ様子。



(左) 開放的な空間でみんなでごはんを食べる。
(右) かまどでピザを作ることも。

自然との触れ合い

ここに来れば、心を許せる友達と、心優しい大人と一緒に焚き火を囲み食事をすることができます。鳥骨鶏と触れ合うことで、心を落ち着かせられた参加者もいました。

他にも、バッタを捕まえたり、飛んできたカブトムシを捕まえたり、自然に解放された場であるので、子どもたちは自由に遊ぶことができます。

中村 祥太郎 さん

自然を駆け回り、みんなで焚き火を囲んで夕食をいただき、とにかく子どもたちにとって、何も考えずただ遊ぶことに熱中できる場であればと思います。



no.6nihonsyu@gmail.com



080-1671-4337

ご利用の際は、事前連絡が必要です。



くにたちCozy Space

小中学生のための無料学習支援教室



開催場所：栄ビル3階301号室（中1-18-41）

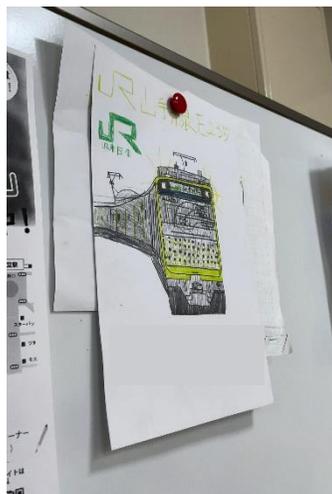


開催日時：毎週火曜日
小学生16:15～17:00
中学生17:30～19:00

毎週火曜日、富士見通り栄ビル3階の一室で、「認定NPO法人ジャパン・カインドネス協会」が、小中学生のための無料学習支援教室を実施しています。

始めたきっかけ

地元である国立に何かできることはないかと思っていたところ、市報で国立駅南口近辺でこどもの居場所・学習支援教室の募集記事を見て、これだと思い活動を始めました。



壁には電車が好きな子どもの絵を展示。好きなことがのびのびとできる空間。



優しくなんでも教えてくれる学生ボランティア。(写真は令和3年当時のもの)

自分らしく過ごせる居場所

ここには、集中して勉強をしたい子、ボランティア講師のお兄さん・お姉さんとお話したい子、スタッフと折り紙をして遊びたい子、パソコンで調べものをしたい子など、色々な子が集まります。自分の好きなことを受け入れてくれる友達やスタッフの存在は、居場所の心地よさを生み出します。学習空間でありながら自由で、学校や塾とは異なる雰囲気空間が広がっています。

渡辺 かおる さん（認定NPO法人ジャパン・カインドネス協会）

みんながゆったり自分らしく過ごせる場所であって欲しいと思います。



042-571-2233

<http://www.jkkyokai.com/cozyspace/>





くにたちCozy Space

小中学生のための無料学習支援教室



開催場所：栄ビル3階301号室（中1-18-41）



開催日時：毎週火曜日
小学生16:15～17:00
中学生17:30～19:00

毎週火曜日、富士見通り栄ビル3階の一室で、「認定NPO法人ジャパン・カインドネス協会」が、小中学生のための無料学習支援教室を実施しています。

始めたきっかけ

地元である国立に何かできることはないかと思っていたところ、市報で国立駅南口近辺でこどもの居場所・学習支援教室の募集記事を見て、これだと思い活動を始めました。



壁には電車が好きな子どもの絵を展示。好きなことがのびのびとできる空間。



優しくなんでも教えてくれる学生ボランティア。(写真は令和3年当時のもの)

自分らしく過ごせる居場所

ここには、集中して勉強をしたい子、ボランティア講師のお兄さん・お姉さんとお話したい子、スタッフと折り紙をして遊びたい子、パソコンで調べものをしたい子など、色々な子が集まります。自分の好きなことを受け入れてくれる友達やスタッフの存在は、居場所の心地よさを生み出します。学習空間でありながら自由で、学校や塾とは異なる雰囲気空間が広がっています。

渡辺 かおる さん (認定NPO法人ジャパン・カインドネス協会)

みんながゆったり自分らしく過ごせる場所であって欲しいと思います。



042-571-2233

<http://www.jkkyokai.com/cozyspace/>





おけらし Okerashi

安心していただける地域の居場所



開催場所：焼肉国立ゆえ（中1-8-9）



開催日時：第2・4火曜日
10:00～15:00

Facebookで活動の様子を
ご覧いただけます。



国立駅から徒歩1分にある焼き肉屋「焼き肉ゆえ」で、月2回、自由に過ごせる居場所として日中に実施しています。居場所名の「Okerashi」は鹿児島弁の「おかえり」が由来です。

始めたきっかけ

学校へ行けない、学校へ行かない選択をした子どもたちが、次に進むための元気をチャージできる居場所として、焼肉国立ゆえさんが場所を提供してくれたことがきっかけです。

子どもたちが多世代の交流を通して、色々なことを感じ、考え、地域の顔見知りを増やすことで、安心して過ごす居場所を作っています。

自由な発想が尊重される空間

夏休みには大学生のボランティアスタッフが、“Children’s bar”(子どもたちのバー)を企画しました。色々なジュースから、何と何を混ぜるとどんな味になるか想像しながら、自分だけの特別なドリンクを作る企画です。

ここでは、好きなことを通じて、子どもの自由な発想が尊重される空間を目指しています。



安心してできる空間で思い思いにお絵描きをする様子。

参加してくれた方からの反応と活動への思い

参加してくれた子どもやご家族から、“大学生との交流をして翌日学校へ行く元気がもらえました”“子どもが話を聞いてもらったのでスッキリした様子で帰ってきました”との感想が寄せられていると共に、ボランティアスタッフからも“子どもたちと遊んでお互いに元気になる”との感想をもらっています。

いま自分がいる場所だけで無く様々な人と関わりながら、のびのびと自分をだせるように、自由に過ごしてほしいと思います。



国立市社会福祉協議会

飯田 公也 さん（後列左）

野澤 力 さん（後列中央）

伊藤 真理子 さん（後列右）



042-575-3223

（国立市社会福祉協議会ボランティアセンター）